

11月7日 十勝町村議会議員研修会
士幌高校生の思いが重なり、
町の未来を紡いでいく



取組み発表をする士幌高校生たち

(写真提供)十勝毎日新聞



今年の研修会は、士幌高校が平成26年度から行っている志(こころざし)プロジェクトの取組みを同校の4人の生徒による発表が行われました。

生徒たちの思いを形にする校内での取組みが、町や地域社会の協力を得て、いつしか士幌町の未来を紡ぐ事業となっていく経過を説明してもらいました。

参加した議員からは次のような感想がありました。

- 課題を設定、テーマを決め実践。成果を確認し次年度の課題を整理。そしてまた新年度に向け取組む、というサイクル化を実践していることに驚かされる。
 - 自然風土に根差した若者の活動に感銘。想いを形にして、それを消費者へつなげる活動は良い経験になる。町民や行政機関を巻き込んで積極的な動きが重要であると感じさせられた。
 - ぼんやりとした生徒の気持ちを夢や目標にし、それを具現化する。士幌町の「ひとづくり・ものづくり・まちづくり」の核となる強い思いが感じられた。
- 未来を作るのは彼ら若い世代であり、彼らの活動は、無限な「夢」と「希望」そのもの。
- 私たち大人が学ぶべき、これからの町づくりに必要なヒントとなりました。そして大きなエネルギーをもらった講演会でした。

議会改革
第2回諮問会議

芽室町の議会って、すごいのか？

11月6日、2回目となる議会改革諮問会議を開催しました。

この日は諮問のひとつ、住民から見た「住民参加」のあり方について協議していただきました。

委員からは次のような意見が出されました。

- 芽室町の議会って、すごいのか？何がすごいのか、町民には知られていない。情報発信の工夫が必要では？
 - 無関心な人に、どう関心を向けさせるかが大きな課題。
 - 議員は、町民からいただいた意見の表面だけではなく、背景も考えて回答すべきではないか。
- この諮問事項に関する議論は3月の答申に向け、会議を続けます。

牛島委員



馬場委員



小山委員



川合副委員長



太田委員長



見
交
換
会
観光振興で
意見交換

芽室の観光振興
夢を持って取組んでほしい

11月14日、総務経済常任委員会は観光振興に係る3団体「新あらし山友の会」「めむろ農家民泊研究会」「MEMUROワインヴァーラー研究会」と新嵐山スカイパークの観光振興について意見交換をし、次のような声をいただきました。

- 新嵐山展望台からの景色は朝、昼、夜どの時間も魅力的で、貴重な資源だと思う。
 - すばらしい自然環境、景観、豊かな食など、誰もが認める観光資源が新嵐山にはたくさんあるのに、再整備できないのはなぜだろう。
 - 観光はもっと夢を持って取組んでほしい。
- 「いただいた声は、今後の委員会活動、政策提案につなげていく考えです。」

